

今年度予算 実績 %

収入の部	今年度予算	実績	%
一般献金	2,150,000	1,882,761	88
慶祝献金	10,000	24,840	248
入学献金	40,000	37,000	93
学習献金	1,020,000	840,300	82
特別献金	100,000	228,000	228
集會献金	6,000	7,500	125
宿泊献金	100,000	69,500	70
暖房献金	48,000	34,400	72
食費	234,000	208,250	89
雑収入	10,000	666,136	6,661
融資金		0	
繰越金	332,469	332,469	100
合計	4,050,469	4,331,162	107

支出の部	今年度予算	実績	%
融資返済	60,000	60,000	100
改修修繕費	40,000	610,000	1,525
施設管理費	170,000	139,368	82
備品管理費	65,000	78,433	121
修理費	30,000	20,000	67
消耗品費	15,000	39,237	262
車両費	120,000	68,781	57
光熱水費	655,000	681,020	104
会議接待費	5,000	626	13
教材費	5,000	1,754	35
事務通信費	150,000	133,616	89
図書費	5,000	2,730	55
キッズ費	36,000	35,890	100
行事礼典費	90,000	13,546	27
研修費	15,000	0	0
謝儀・人件費	1,923,200	1,789,000	93
広報渉外費	50,000	25,655	51
給食費	234,000	171,821	73
保険費	60,000	63,380	106
雑費	9,000	26,130	290
予備費	20,800	10,180	49
合計	3,718,000	3,971,167	107
繰越	332,469	359,995	

10周年記念収支報告書

収入の部

10周年記念のために	188,000
土地返済のために	1,211,000
口座徴収料金	-3,910

収入計 1,395,090

支出の部

10周年記念式典	15,997
校外功勞者への感謝状・記念品	22,081
記念誌発行及び送料	86,878
記念誌原稿依頼切手代(7月)	1,600
融資金返済	920,000
払い込み手数料	140

支出計 1,046,696

10周年記念 収入-支出 348,394

(残余金)

★ 残預金の用途

スタッフ臨時謝儀	110,000
本会計へ	120,000
繰越(道具設置等)	118,394
計	348,394



皆様のお祈りとご支援に心より
お礼申し上げます。皆様の上に主
にある恵みと祝福が豊かにありま
すように!

宗教法人 チーフーキリスト伝道会
チーフーキリスト教学園

T 041-1111
北海道亀田郡七飯町本町 6丁目 7-31
Tel & FAX: (0138)64-4177
E-mail: chefoo77@ms5.ncv.ne.jp
ホームページ: http://www5.ncv.ne.jp/~chefoo77/
郵便振替: 02780-4-78509
※学校見学はいつでも大歓迎です。
宿泊をご希望の方は、事前にご連絡下さい。

Chefooだより No.27
2013/06/20

【教育目標】

聖書に基づく人格教育 次代を担い得る人材の育成 国際化時代に即応する能力を育む

祈りの心
～ 高校2年生“S君”～

天は神の栄光を語り告げ、
大空は御手のわざを告げ知らせる。
昼は昼へ、話を伝え、夜は夜へ。知識
を示す。
話もなく、ことばもなく、その声も聞
かれない。

(詩篇 19 : 1-3)

詩篇は、イエスが人々に教えた『天に
います私たちの父。御名があがめら
れますように。…』(マタイ 6 : 9以下)
で始まる祈りの心にある、と述べられて
いる。

チーフーの森にもようやく新緑の季
節が訪れ、前庭にはつじや藤などが
鮮やかに咲き誇っております。おだや
かに日射しの指す中、鶯の鳴き声とと
もに毎朝(10時半頃)高校生S君がゆ
っくりとした足取りで登校してきま
す。

チーフースクールは、現在通信高校生
のS君(高2)が一人で頑張っております。

幼少の頃よりI型糖尿病を抱えインシュ
リンの投与など、今日まで想像を超え
る治療や心身の不安と格闘しながらも
心の平安を求め歩んで参りました。
次の自作詩にその心情の一端が表現さ
れております。

「戯(たわぶ)れた幼き日々の鳴川(なる
かわ)で、
今はその音聞くだけでよし
孤独だと自らにまた言い聞かせ、

今日という日をひとり乗り切る
セミが鳴く、七日余りの一生を、
いのちの限り彼は鳴く、いのちの限り」
(この詩に音楽担当の先生が曲を付け
て素敵な作品に仕上げてくださいました。)

彼の好きな聖句が、冒頭の聖句です。
チーフーに来て、自然を創られたのは
創造主としての神様と知り感懐深い
ものを感じたとのこと。幼い時からの
孤独感や寂寥感を慰め癒してくれた近
くの小川のせせらぎ。自分のいのちを
セミの一生に託し、自然を創られ命を
育む創造主の神様に思いが巡ったので
す。幼い時の孤独感の中で、静かに「父」
なる神とヨブのように対話していたの
かもしれません。

わたしを始め周囲にいる人々は、つ
い「学習」や「進路」をあれこれ尋ね
てしまいます。しかし、物静かな日々
の中に、今を精一杯生きようとして
いる彼の生き様に教えられるものがあり
ます。

冒頭の聖句(2-3節)には断絶を
通して、私たちの置かれた状況の中に
神様が居られるという。「祈り」とは、
まさにそのような時にこそ届くのかも
しれません。幼い時からその「祈り」
の心を持って懸命に生きている彼の姿
勢に、クリスチャンとして謙遜に耳を
傾ける何かを感じるものがあります。

「主はヨブの前の半生よりあとの半生
をもっと祝福された。」(ヨブ記 42 :
1,2)

どうぞお祈りに加えて頂ければ幸いです。

校長 庄司 信雄

一日、一日に感謝しつつ

品田 君江

「私たちは、あなたに感謝します。神よ。私たちは感謝します。」(詩篇75篇1節)

11月の半ばに雪が降り始め3日目の朝に漸く晴れ上がりました。窓から外を見ると眼下に高齢者ホームの屋根に積もった雪がキラキラと輝き、右手にはカナダ種の楓の巨木が真っ赤に葉を染め、左手には常緑樹の榎松が聳える様に立っています。さらに屋根越しに遠くを眺めると、2年後に開通を待つ新幹線の橋脚が、1本の細長いロープが敷かれたように見えます。創造主においてになる神様が、大きなキャンパスに描いた美しい絵を見るような風景です。

夏には屋外のバスケットボールのコートの上に日陰用のテントが張られ、そのそばにプラスチック製のブルーが置かれます。また芝生の敷地には滑り台と砂場があって、10月の半ばにはブランコも新設されました。そこで遊ぶ子供たちの声と笑顔は、初雪と共に屋内の教室に変わりました。ところが最近になって若いお母様方のストレッチやダンスも加わり、1、2、1、2の掛け声や種々の音楽が流されるようになりました。老いた私たちにとはとてもできませんが、どのお顔も笑顔と汗で輝いています。それと共に、低料金のこともあるからでしょう。ティーフーカフェで昼食や喫茶を楽しむ人々も出てきて、先生方や職員の方々は、一層忙しくなってきたようです。

人気(ひとけ)のないティーフー学園は、日中でも寂しさや、時には不気味さを感じさせられるほどですが、高齢の私たちには、幼い子供たちや若いお母様方のお声や笑顔は何よりもホッとさせられ、また幸せも感じさせられます。それに84歳になって、今は炊事、洗濯お掃除とも何も出来なくなりましたが、イエス様が与えて下さった素晴らしい夫に感謝せずにはおられません。足腰の衰えから幾らか痴呆にも冒されていると思いますが、礼拝と祈禱会に欠かさず出席が許され、さらに通院や食品の買い出しなど、夫の運転する車で一緒に出掛けることが出来、幸せを噛み締めております。イエス様、本当に有り難うございます、幾度言っても言い過ぎることはないと思います。しかしそれと共に、いつも背後にあってお祈り下さることに合わせ、私たちに対する皆様方の暖かなご配慮にも、心から感謝し、この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

(代表役員・品田と志夫師夫人)

ティーフー・キッズの日々

園長 庄司 洋子

ティーフー・キッズは、5年目を迎え、現在は「少人数親子教室」として週一回(火曜日)活動をしています。現在1歳半から3歳までの8組の親子が通っています。

10時に集合し、出席カード(親子で作った手作りのもの)にシールをはり、朝の会、絵本、手遊びなどをして心を落ち着けてから礼拝をします。礼拝は賛美とお祈りと短い聖書のお話です。賛美は体を動かしながらも楽しそうに歌います。お話しは、わかりやすく神様の愛を伝えたいと心がけていますが、子供たちは最初は集中できなくても次第にお母さんの膝の上で一緒に聞けるようになり、暗唱聖句も言えるようになります。

その後は天気が良ければ、外遊びか散歩、特に今年度はブランコが設置されたので、楽しみが増えました。月一回はおやつ作り、母の会があり、室内で遊ぶときはカードゲームをします。子どもたちは好きなように自由に遊びます。お母さんは「後でね」とか「ちょっと待ってね」とか「あっちに行ってみよう」とか言わずに、いつもそばにいてくれる安心感の中で、呼べばすぐ来てくれることがわかってのびのび遊ぶようになります。お母さんたちも忙しい家事から離れて、親子でゆっくり時間を過ごすとても良い充実した時間になっているように思われます。実はそのことが幼児期の子どもにとっても満ち足りた幸せな時間となり、お母さん方にとっても大切なひとときになります。もちろん時にはおもちゃの取り合いになって、泣いたり、走ってころんだりとかいろいろありますが、それもいい経験と考えます。そうして、いつの間にかティーフーが大好きになり、お母さんもお母さん同士の交流を楽しみます。

先生方は子ども一人一人が神様に創られ、愛されている大切な存在として関わり、接したいと願っていますが、日々成長していくのを見ることができとても感謝です。

豊かな自然と神様のお守りに感謝して、これからも多くの子どもたちと楽しく遊びたいと思います。

